

2017.10.22 ★ in Munakata

# 第3回 全日本実業団対抗 女子駅伝競走大会 予選会

超大型の台風 21号「ラン」に  
見舞われた本大会。  
LAURUSのレース展開も波乱に  
満ちたものとなりました。



私たちの強みは  
チーム力!!  
ぜったい仙台行くぞ



菊池 理沙選手  
Risa Kikuchi  
7.0km 24位

1区



2区

小井戸 涼選手  
Ryo Koido  
3.6km 22位 ↑



沿道からの  
熱い応援に  
真剣な表情の  
小井戸選手



小澤 夏美選手  
Natsumi Ozawa

10.7km 22位➔

3区



☞ 台風の影響で  
荒れ模様の天気。  
海からの風が  
選手を苦しめます。

4区

オバレ・ドリカ選手  
Obare Doricah

3.8km 22位➔



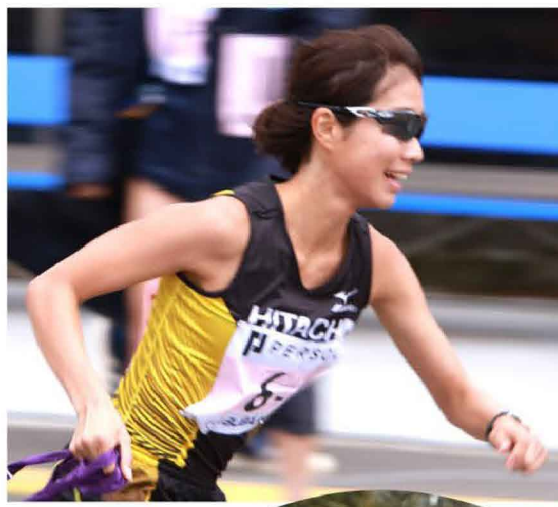
5区

鈴木 千晴選手  
Chiharu Suzuki

10.4km 16位↑



☞ ドリカ選手の  
到着を待つ  
鈴木選手。  
緊張の瞬間。



6区

田山 満理選手  
Mari Tayama

6.695km 17位



GOAL!



総合順位**17位**

(29チーム中)

記録 2:25:52

本戦出場に手が届かず、  
打上式では  
笑顔に隠しきれない悔しさを  
選手たちの表情に  
感じました。



## 加藤 宏純監督

Hirozumi Kato

大変申し訳ございませんでした。8位入賞、悪くても14位以内に入ることを目標にしていたのですが、17位という結果に終わり目標に届くことができませんでした。

試合が終わり、監督としてどうだったのかと考えさせられているところです。情熱、決断力、責任感…いろいろなことが頭の中に浮かんでおります。

選手たちは持てる力の全てを出してくれましたが結果は17位(14位までが本戦へ出場)でした。どのチームも上をめざして頑張っており、私たちにはまだ足りないものがあったと痛感しております。我々はこれからのチームです。今後もチーム力を一層強化して挑戦していきます。



## 鈴木 千晴主将

Chiharu Suzuki

このような結果で、応援してくださっている皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。スタッフの皆さんも、ご家庭がある中、毎晩遅くまで私たちに貴重な時間を費やしてくれました。

私はキャプテンとして、結果を出したい一心で今日は走りました。走る直前まで不安が残っていた5区でしたが、向かい風の中、とにかく前に出ようとチームのみんなの顔を思い出しながら走りました。

この結果から逃げることは簡単です。「悔しい」と、ことばにするのは簡単です。ですが、この悔しさは絶対に走りです。昇華します。そんな私たちを見ていてください。これからも応援をよろしくお願いします。



## 仲田 清競技部長

Kiyoshi Nakata

荒れた天候の中、多くの方に応援に駆けつけていただきありがとうございました。

今日のレースは残念な結果でした。女子陸上競技部はこれを真摯に受け止め、明日、そして未来に向かって鍛錬してください。

一方では、素晴らしい走りも見せていただきました。これから、明るい未来に向けて一步一步成長していただきたい。我々もこれまで以上に応援します。



たくさんの熱い応援  
ありがとうございました!

今回の結果を真摯に受け止め、「悔しい」ということばで終わらせず、翌日には気持ちを切り替えて明るい表情を見せてくれた選手の皆さんの目線は力強く次の目標へ向けられています。

日立製作所女子陸上競技部事務局